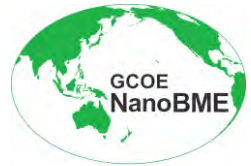




TOHOKU
UNIVERSITY

分子イメージング特別講義



Tohoku University

芸術の表現と創造性：脳損傷研究 から機能画像神経科学への展開

講師：川畑 秀明博士
慶應義塾大学文学部心理学研究室

日時：7月17日(金) 16:00-17:30
場所：医学部5号館6階リフレッシュ・ルーム

連絡先：医学系研究科機能薬理学分野
谷内一彦(717-8055)
(東北大学分子イメージング研究推進室)
共催：東北大学グローバルCOE
「新世紀世界の成長焦点に築くナノ医工学拠点」

要旨

近年、神経経済学と並び注目されている神経美学においては、美的判断における前頭葉報酬系の機能的役割を中心に「感じる」ことに着目されがちであったが、表現面では芸術家の脳損傷例など比較的古くから感性的表現の神経心理学的研究が積み重ねられてきている。本講義では、芸術家が表現と創造性の発現について、前頭葉や側頭葉の損傷等による失認症やアルツハイマー型認知症、幻覚といった症例研究の観点と、fMRIを中心とする画像神経科学との観点から、最近の表現研究の一端を紹介し、神経美学における鑑賞レベルと表現レベルとの接点を明らかにしたい。